

どこにも属さない民族舞踊  
— 共生するダンス

2024

10.19  
Sat 19:00

10.20  
Sun 15:00

# クリスチャン・リゾー D'après une histoire vraie — 本当にあった話から

クリスチャン・リゾー  
D'après une  
histoire vraie

「伝統的な民族舞踊の所作、動作の裡に新たなダンスへの萌芽を掴み取り、生き生きとした動きが舞台を埋め尽くしてゆく。それはあたかもひとつのコミュニティが生成される過程を見ているようである」  
— ル・モンド紙 2013年

## クリスチャン・リゾー Christian Rizzo

『D'après une histoire vraie』は  
間違いなくクリスチャン・リゾーの傑作である。  
2013年のアヴィニョン・フェスティバルでの初演から、  
世界中の都市でツアーを続け大成功を取っている。  
本作で振付家は、わたしたち人間のDNAに共通に刻まれた、  
肉体の奥底から湧き出る身振りの根幹に踏み込んだ」  
— テレマ誌 2017年

# ラシッド・ウランダン Corps extremes — 身体の極限で

ドキュメンタリーと夢の交錯  
— 驚異のパフォーマンス

2024  
10.26  
Sat 19:00

10.27  
Sun 15:00

## ラシッド・ウランダン Rachid Ouramdane

「サーカス芸術とコンテンポラリーダンスが交わる  
自由と解放へのめくるめく讃歌」  
— カルチャーサイト・パナムの娘たち 2022年

『Corps extrêmes』は、  
恐怖の感情について瞑想する世界にあなたを連れてゆく。  
このスペクタクルは、身体能力の極限に到達しても  
決して忘れることなどできない、自身の身体、  
そして他者の身体の弱さを、生々しく鮮やかに描き出している」  
— ル・モンド紙 2021年

チケット発売日

7月13日(土) 一般発売 / 7月6日(土) メンバース発売

- ※未就学児入場不可。
- ※演出の都合により、開演時間を過ぎての入場や途中退場されると、ご予約席へのご案内ができません。予めご了承ください。
- ※サイドバルコニー、2階席の一部は舞台の一部が見えづらいお席です。
- ※1階席C列目までのお席は前列との間に段差がございます。予めご了承ください。
- ※車椅子でご来場の方は、チケットご購入時に必ずSAFチケットセンターへご連絡ください(車椅子スペースには限りがございます)。
- ※営利目的での転売を禁止します。

チケット取扱い  
お問合せ

[Web] SAFオンラインチケット <https://www.saf.or.jp/t/>  
[電話] SAFチケットセンター 0570-064-939 (劇場休館日を除く10:00-18:00)  
[窓口] 彩の国さいたま芸術劇場 (休館日を除く10:00-18:00) / 埼玉会館 (休館日を除く10:00-18:00)  
[プレイガイド] イープラス <https://eplus.jp/> チケットぴあ <https://t.pia.jp> ※2演目セット券のお取扱いはございません。



彩の国さいたま  
芸術劇場のご案内



- ◆開場は開演の30分前です。
- ◆やむを得ない事情により公演等に変更が生じる場合がございます。
- ◆0歳6か月以上の未就学児に対して託児のご予約を承ります(お子様1人に対して負担金2,000円)。公演1週間前までに(株)明日香0120-165-115までお申込みください(受付時間/土日祝除く10:00-17:00、WEB申込みも可。詳細はHPへ)。定員になり次第締め切らせていただきます。
- ◆駐車場(有料)は台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。



公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団  
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1  
TEL.048-858-5500(代)  
FAX.048-858-5515  
<https://www.saf.or.jp>

☎ @Dance\_SAF  
📍 @saitamaartstheater

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ



## 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

主催: 彩の国さいたま芸術劇場(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団)、ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーペル  
※本公演は、京都と埼玉で開催するダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーペル フェスティバルの一環として上演いたします。



DANCE REFLECTIONS  
VAN CLEEF & ARPELS

BY

# Christian Rizzo

「2004年、イスタンブール。」

パフォーマンスが終わる数分前、どこからともなく男たちの集団が現れ、

ごく短い民族舞踊を踊って、すぐさま消えていった。(中略)

私を圧倒したのは、その踊りだったのか、

彼らが立ち去った後の空虚だったのか。

おぼろげではあるが、このときの感覚はずっと、私の中に固定されたままである」

—クリスチャン・リゾー (2013年)



2015年より南仏モンペリエの国立振付センター ICI-CCNのディレクターを務めるクリスチャン・リゾーが、イスタンブールで観た民族舞踊にインスパイアされて生まれた『D'après une histoire vraie 本当にあった話から』。個や集団の在り方を観る者にまっすぐ問いかける本作では、8人のダンサーと2人のドラマー、総勢10人の男たちが、「男らしさ」のくびきから逃れようとしながら、流れるような動きの変容を可能にしてみせる。まるで伝統と現代の間を優しく解きほぐすかのように。

地鳴りのようなリズムと波打つ身体が呼应し合い、集団から共同体へと自由に行き来する。個々の違いを見つめ合い、結びついては離れ、差し伸べられる手によってまた結びつく……他者の存在に支えられながら、土地を持たない民族舞踊ともいえるダンスが生まれていく。どうすれば連帯感を得られるのか？ ダンサーとドラマーのほとばしるエネルギーが交差し、共生に向かうダイナミックなダンスが立ち上がる。

Photos: Marc Damage

初演:2013年7月7日 アヴィニオン・フェスティバル(フランス)  
上演時間:約60分(途中休憩なし)

コンセプト・振付・舞台美術・衣裳デザイン:クリスチャン・リゾー

出演:ユネス・アブラクル、ファビアン・アルマキエヴィッチ、ヤイル・パレリ、マッシモ・フスコ、ベップ・ガリゲス、ケレム・ゲレベック、フィリベ・ロウレンソ、ロベルト・マルティネス  
演奏(ドラム):ディディエ・アンバクト&キングQ4

音楽:ディディエ・アンバクト&キングQ4  
照明:キャティ・オリーブ

[コンセプト・振付・舞台美術・衣裳デザイン]

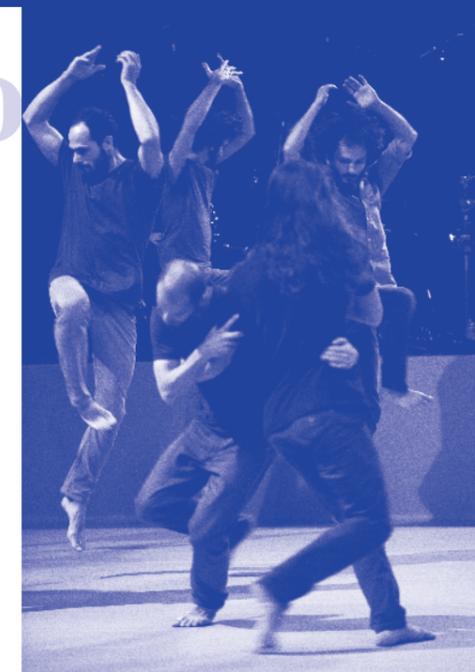
## Christian Rizzo

クリスチャン・リゾー

1965年カンヌ生まれ。ロックバンドを結成し、アパレルラインを立ち上げるなど、ツールーズでアーティストとしての第一歩を踏み出した後、ニースのヴィア・アルソン国立高等芸術学校でビジュアル・アートを学ぶ。1996年、「l'association fragile」を設立し、オペラ、ファッション、ビジュアル・アートなどのプロジェクトとともにパフォーマンスやダンスなど40以上の作品を発表。フランス国内外の美術・ダンス専門教育機関で教鞭をとる。2015年、モンペリエの国立振付センター ICI-CCNのディレクターに就任。創作、トレーニング、芸術教育などの横断的なビジョンをもって活動している。日本では2003年『いいんじゃない?「ボディ・ビル」「ハデハデ」「ゴチャマゼ」いろいろあって…』、2004年『ポリエステル 100% 踊る物体』、2014年『扶られるのは守っている方の目だ』など、ユニークかつコンセプチュアルな作品を紹介。



© ICI-CCN Denise Oliver Fierro



## 10.19 [土] 19:00 10.20 [日] 15:00 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

※10.20[日]クリスチャン・リゾーによるポスト・パフォーマンス・トークあり。

TICKET チケット(全席指定・税込)

一般 S席 6,000円 / A席 4,000円  
メンバーズ S席 5,500円 / A席 3,500円  
U-25\* S席 3,000円 / A席 2,000円  
2演目セット券 一般 S席 11,500円

\*公演時、25歳以下対象。入場時身分証明書提示。  
※2演目セット券は『Corps extrêmes』もお楽しみいただけます。  
※プレイガイドでは2演目セット券のお取扱いはございません。

〈京都公演〉

KYOTO EXPERIMENT 2024  
日時: 10月12日(土)19:00  
10月13日(日)19:00  
会場: 京都芸術劇場 春秋座  
https://kyoto-ex.jp  
075-213-5839(平日11:00-17:00)  
/8月以降は平日11:00-19:00)

〈関連企画:ダンスワークショップ〉

『D'après une histoire vraie』をもとにしたインプロ(即興)を交えながら、身体を多視点から探求するワークショップ。  
日時: 10月18日(金)13:00-17:00  
会場: 彩の国さいたま芸術劇場 大練習室  
講師: ファビアン・アルマキエヴィッチ  
対象: ダンス経験不問(初心者可) 参加費: 2,000円(税込)  
※応募方法など詳細はHP、SNSにて後日発表予定。

# Rachid Ouramdane ラシッド・ウランダン Corps extrêmes 身体の極限で

「上空で、私が追い求めているのは自由です。

それが私を空中に駆り立ててやまないのです」

—ネイサン・ポーリン (ハイライナー/2021年)

2021年、パリのシャイヨー国立劇場ディレクターに就任したラシッド・ウランダンが発表した『Corps extrêmes 身体の極限で』は、「空中を飛びたい、無重力になってみたい、宙吊りになってみたい」といった願望がひき起こすある種の魅惑に焦点をあてた作品である。スポーツとアートの境界が取り除かれた本作では、傑出した才能をもつ超高所での綱渡り(ハイライナー)とクライマーの2人が、8人のアクロバットパフォーマーとともに数々の超絶技巧を繰り広げる。作中、世界最高記録をもつハイライナー、ネイサン・ポーリンらの言葉が語られる。リスクと隣り合わせの状況に自身を追い込み、驚異的な技で魅せる彼らの極限状態における心の内とは――。

イカロスの夢を現代に具現化したようなステージは、超人的な動きのダイナミズムで観る者を圧倒するだけでなく、空中での空虚との戯れの先にあるパフォーマーの心情をも映し出す。ジャン=バティスト・ジュリアンの重層的な音楽とともに、並外れた人間の体験に鮮やかな光を投じる新感覚のパフォーマンス。

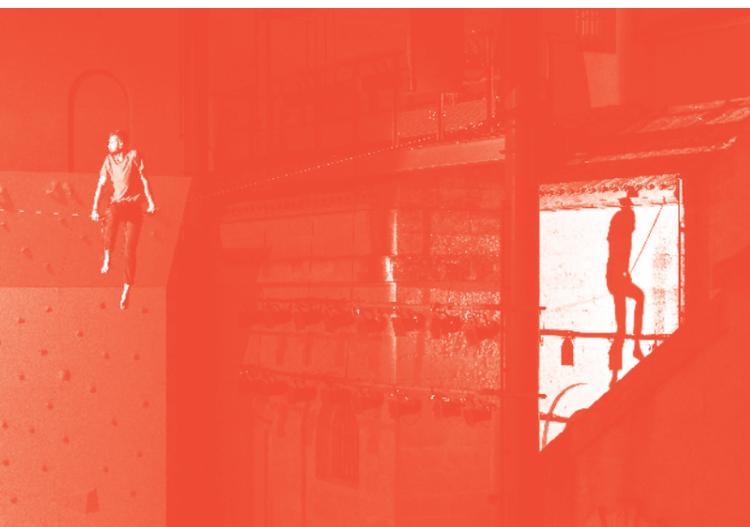
初演:2021年6月23日 モンペリエ・ダンス・フェスティバル(フランス)  
上演時間:約60分(途中休憩なし)

コンセプト・構成:ラシッド・ウランダン

出演:タミラ・ドゥ・ナイヤール、ベラルー・サン・ヴィサント、リザンドロ・ギャロ、ジョエル・アズー、ヴァレリアン・ムティエール、マキシム・セゲール、シャルリー・エシオン、ニコロ・マルツォーリ、カミーユ・ドゥマス、アントワーン・クレティノン  
映像出演:ネイサン・ポーリン、ニナ・カブレツ

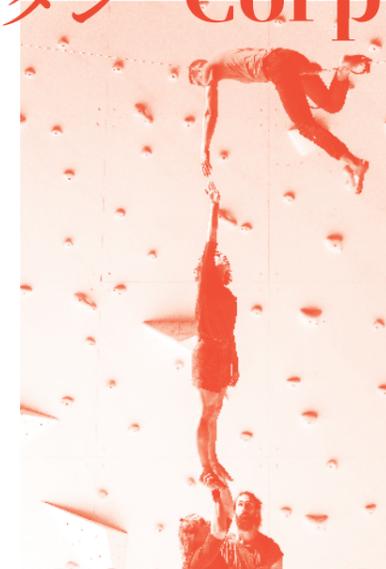
音楽:ジャン=バティスト・ジュリアン 映像製作:ジャン=カミーユ・ゴイマール  
照明:ステファン・グライヨ 衣裳:カミーユ・パナン

Photos: Pascale Cholette



コール

エクストレーム



[コンセプト・構成]

## Rachid Ouramdane

ラシッド・ウランダン

12歳のときにヒップホップを通じてダンスに出会い、クラシックとモダンダンスを学ぶ。アンジェ国立現代舞踊センターで学んだ後、振付家・パフォーマーとしてフランス国内外で活動を開始。2005年からアヌシーのボンリユー国立舞台、2010年からパリ市立劇場のアソシエイト・アーティストを務めた後、2016年より、サーカスアーティストであるヨアン・ブルジョワとグルノーブル国立振付センター(CCN2)の共同ディレクターを務めた。サーカスアーティストやビジュアルアーティストとのコラボレーションや、難民らの声を取り入れたドキュメンタリー的な創作手法で注目を集める。2021年4月、シャイヨー国立劇場のディレクターに就任。日本では2012年に『万国博覧会(ワールド・フェア)』、2018年に『TORDRE』、2022年にカンパニー-XY with ラシッド・ウランダン『Möbius /メビウス』を上演。



© Julien Benhamou

## 10.26 [土] 19:00 10.27 [日] 15:00 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

※10.27[日]ラシッド・ウランダンによるポスト・パフォーマンス・トークあり。

TICKET チケット(全席指定・税込)

一般 S席 6,500円 / A席 4,500円  
メンバーズ S席 6,000円 / A席 4,000円  
U-25\* S席 3,500円 / A席 2,500円  
2演目セット券 一般 S席 11,500円

\*公演時、25歳以下対象。入場時身分証明書提示。  
※2演目セット券は『D'après une histoire vraie』もお楽しみいただけます。  
※プレイガイドでは2演目セット券のお取扱いはございません。

〈京都公演〉

日時: 11月2日(土)19:00  
11月3日(日・祝)15:00  
会場: ロームシアター京都 サウスホール  
https://rohmtheatrekyoto.jp/  
075-746-3201(10:00-17:00)

〈関連企画:アクロバットワークショップ〉

無重力や宙吊りなどを体験しながら、他者との関係性を探るワークショップ。アクロバット経験不問。  
日時: 10月27日(日)17:30-19:30  
会場: 彩の国さいたま芸術劇場 大練習室  
講師: マキシム・セゲール、タミラ・ドゥ・ナイヤール  
対象: ダンス中級以上 参加費: 2,000円(税込)  
※応募方法など詳細はHP、SNSにて後日発表予定。